

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス さくらんぼ天祐		公表日		
				R8年 4月3日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		・遊具の場所・整理整頓を心がけている ・適切であり、定期的に見直しや話し合いを心がけている	今後も継続していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		・適切だと思う ・見守り人員は十分に配置していると考えている	今後も継続していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		・児童の特性に応じ設備・環境を整えている ・不足や不備が出てきた際も、報告後すぐに対応してもらっている	今後も継続していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		・清掃・消毒等を毎日行っている 児童が心地よく過ごせるよう環境づくりを行っている ・室内・車両等、定期的に清掃を行っている	今後もスタッフ全員で清掃・工夫しながら安全に過ごせるよう努めます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		・気分不良に備え、別室にクールダウンの部屋も設置してある ・個別でも学習や個別で取り組めるよう、別室を設けている	今後も継続していきます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		・定期のミーティングで児童の振り返り等、共有と話し合いができています ・全体会議を通して、様々な特性に対してのかわり方などもスタッフで統一できるよう取り組んでいる	今後も継続していきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・HPIに掲載するとともに、スタッフ間で把握・共有して業務改善につなげている	今後も継続していきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・定期のミーティングで意見の共有ができる機会がある ・年に2度、専務との面談の場を設けている ・その都度、施設長や専務に相談できる環境だと思う	今後も継続していきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	7	・第三者による外部評価があっているのか把握していない	第三者による評価は行っておりませんが 本社や顧問より業務指導や助言をいただいております
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		・全体会議にて研修が行われている ・外部の研修会に参加している ・顧問の研修が行われている	外部研修にも積極的に参加する環境づくりを行っております また社内研修や自己研修も定期的に行っております
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		・本社・各施設長が作成してくれている ・HPやアプリに公表されている ・スタッフルームに保管されているため確認できる	今後も継続していきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		・児発管が作成している ・ミーティングにて児童の状態や課題の確認等、話し合う機会がある	今後も継続していきます
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		・ミーティングにて児童の状態や課題の確認等、話し合う機会がある	今後も継続していきます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		・ミーティングにて児童の状態や課題の確認等、共有している ・スタッフルームに利用児童全員のファイルがあり確認できる ・重要事項はミーティングやグループラインにて共有できている	今後も継続していきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		・全利用児童に統一して、アセスメントツールを用いて評価することができている。	今後も継続していきます
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		・デイサービス計画は児発管が作成している ・家族支援・地域支援の情報等も、スタッフ間で共有できていると思う	今後も継続していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		・ミーティングの機会にスタッフで意見を出し合い立案している ・スタッフ皆で意見を出し合っている	今後も継続していきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		・時期やイベントに応じて、固定化しないよう気を付けている ・集団療育の中で必要なものは、意図して固定化していると思う ・児童に楽しめる内容を、スタッフ皆でアイデアを出している	今後も継続していきます

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		・集団療育メインだが、児童の特性に応じて個別で行えるよう部屋を設けている ・学習など個別活動に対する支援も行っている	今後も継続していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		・SNSを用いてスタッフ間で情報共有を細めに行っている ・ミーティングにて活動の内容・役割分担を確認できている	公休のスタッフにもしっかり共有できるよう、議事録も作成しています SNSも駆使して迅速に共有できるよう努めています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		・SNSを用いてスタッフ間で情報共有を細めに行っている ・ミーティングにて活動の様子、児童の様子など振り返りを行っている	公休のスタッフにもしっかり共有できるよう、議事録も作成しています SNSも駆使して迅速に共有できるよう努めています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		・SNSを用いてスタッフ間で情報共有を細めに行っている 毎日記録を残しており、見返せるよう工夫していると思う	今後も継続していきます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		・児発管が適切な見直しを行っている ・モニタリングを定期的に行っている	今後も継続していきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12		・イベント活動等も「基本活動」を考慮しながら作成していると思う	今後も継続していきます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	12		・スタッフが決めるのではなく、児童に選択ができるよう声掛けを心がけている ・視覚的に提示して、自身で選択できるよう工夫して支援を行っている	今後も継続していきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		・管理者や児発管が参加している ・担当者会議の前にはスタッフ間で情報共有する機会を設けている	今後も継続していきます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		・連携医療機関を設けて、連携して支援を行う体制ができていると思う	今後も継続していきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		・学校との年1回の顔合わせを行っている ・送迎時に意見交換を密にしている	今後も継続していきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12		・児童発達支援から放課後等デイサービスに移行する際は、情報共有を必ず行っている ・移行支援等の会議にも積極的に参加できている	・昨年のアンケートでご意見をいただきましたので、改善できるよう努めております ・移行支援会議には全て出席し、情報の共有が密にできるよう努めております
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	4	・障害福祉サービス事業所へ移行した児童がいない ・移行した児童はいないが、情報の提供は必ず行えるよう準備していく。	今後卒業する児童の情報は提供できるよう準備を進めています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	6	・本社・各施設長が研修へ参加していると思う ・スーパーバイズを受ける機会があるのか把握していない	SCAN（佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会）に積極的に参加しております 今年度は役員としても連絡会を進めてまいりました
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	8	・児童クラブや児童館との交流はできていない ・外出の際に地域の児童たちと触れ合ったり、一緒に遊ぶ姿が見られる	児童クラブや児童館との交流は行えておりませんが、外出（公園、地域行事）することで機会をつくっていきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	9	・本社・各施設長が参加していると思う ・把握していない	機会があれば参加を検討していきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		・送迎時やSNSを利用して日頃から様子を共有できるよう心掛けている ・SNSを通して、活動の様子などを写真や動画で共有している ・SNS（インスタグラム）を通して発信している	今後も継続していきます
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	9	・保護者が参加できる研修や案内は行っていないと思う	家族支援プログラムは行えておりませんが研修の情報提供等を行っていくよう努めます
保護	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		・契約時に施設長が説明を行っている ・支援プログラムはHPにも掲載している	今後も継続していきます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		・送迎時などで、配慮の説明や家族の意向も伺っていると ・LINEを通して家族の意思を聞き配慮できるよう環境調整を行っている	今後も継続していきます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		・送迎時やアプリも利用しながら、同意をいただいている	今後も継続していきます
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		・LINEを通して相談に応じたり、利用中の児童の過ごし方など伝えていると思う。 ・面談を行ったり、会議への参加も積極的に参加していると思う	今後も継続していきます
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	11	・保護者会や家族が参加できるイベントなどは行ってないと思う ・保護者同士の交流は行ってない	児童の預かり状況や開催場所の問題で実施できておりません。 3事業所合同で実施する機会が作れるよう検討・提案を行います

者への説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		ご意見をいただいた場合は、迅速に連絡共有を行い、施設長や専務が対応している	今後も継続していきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		・定期的に保護者へ利用時の写真を送信している。 ・定期的にインスタグラムを更新し、保護者にも安心して利用してもらえるよう努めている	今後も継続していきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		・児童1人1人のファイルを作成しており、取り扱いには注意している ・スタッフルームには鍵付きロッカーもあり、十分留意できていると思う	今後も継続していきます
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		・専用のアプリで利用時は連絡帳を送信している ・児童の過ごし方を見てもらえるよう、定期的に写真や動画を送信している ・絵カードなどを用いて児童の意思をくみ取れるよう支援している	今後も継続していきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9	・地域住民を招待するイベントや取り組みは実施できていない	児童の特性や場所の問題もあり、地域住民を招待する行事は実施できておりません。 3事業所合同で実施する機会が作れるよう検討・提案を行います
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		・マニュアル策定しており、誰にでも周知できるようファイルにまとめている ・様々なトラブルを想定して、定期的にスタッフ全員で訓練を実施している	今後も継続していきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		・継続計画を策定しており、誰にでも周知できるようファイルにまとめている ・スタッフ周知のため、定期的に読み合わせを実施している ・全体会議を通して、定期的に訓練を行っている	今後も継続していきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		・見学・契約時に保護者様へ確認している ・スタッフにも確実に共有されている	今後も継続していきます
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2	・見学・契約時に保護者様へ確認している ・スタッフにも確実に共有されている ・医師の指示に基づく行為（エビベンなど）はしたことがない	見学や契約時にアレルギーの聞き取りを行っております イベント時にも注意・確認を行い利用していただけるよう努めます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		・安全計画は作成しており、スタッフに共有できるようファイルにまとめている ・全体会議にて安全計画の研修や訓練を行っている	今後も継続していきます
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		・安全計画は作成しており、保護者様がいつでも確認できるように玄関前に配置している	今後も継続していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		・定期的にミーティングで共有している ・毎月の全体会議にて共有する機会がある	今後も継続していきます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		・年に一度顧問から「虐待」「身体拘束防止」についての研修があっている ・虐待委員会や市町村の研修に参加している	今後も継続していきます
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		・虐待委員会で身体拘束についての流れを話し合っている ・やむを得ない身体拘束についてはその都度保護者様へ状況の説明や了承を頂くよう努めていく	今後も継続していきます	